

防犯設備士のもう一つの役割 ～県民の心に寄り添う～

防犯設備士
熊本県警委嘱 防犯設備アドバイザー
一般社団法人 熊本県防犯設備協会 代表理事
株式会社 レッツページ 代表取締役

宮原 義浩



私は熊本県防犯設備協会の代表理事に選任され3年が経過しました。熊防設への相談は全て私が担当し、各行政からのセミナーの対応、県民の皆様からの不安を電話対応で伺っています。

セミナー時も可能な限り「質疑応答」の時間を多く設け皆さんの心の不安にしっかり向合えるよう努力もしています。



県民の皆様より電話相談を聞いている様子



熊本県八代市役所でのセミナーの様子

県民からの電話問い合わせは年10回～20回、各行政からのセミナー依頼や県警などの防犯イベントは年10回弱対応していますが、もっとも意識しているのは「この方は何に不安を覚え、何に恐れていて、何の答えを求めているのか?」です。

相談される方の内容を分類すると以下のようになります。

1. (Aさん) 強盗など凶悪事件をテレビで見るととにかく不安でたまらない。近隣で不審者をよく見かける。
2. (Bさん) 防犯対策をしたいが何から行えば良いかわからない。自宅にどのようなリスクがあるかがわからない。
3. (Cさん) 防犯カメラを取付たい、補助錠を付けたいなど明確な考えを持っているが、依頼先の信頼出来る企業を探せない・知らない。など
4. (Dさん) ホームセンターで防犯フィルム、防犯カメラ、窓に取付ける振動センサーなどを買おうと思うがどのメーカーが良いか教えてほしい。

主にこの4つが多いように感じます。

年齢や性別に関しては、95%は70才以上の高齢者、残りの5%は高齢者の家族からとなっていて、性別は、98%が女性と圧倒的に高い状況です。

Aさんの場合

比較的長めに(30分程度)話を聞き、話題一つひとつ解決策をゆっくり話してあげれば、「相談してよかった～」と喜んで電話をされる事が多いように感じます。

例えば、高齢者の一人暮らし(女性)からの相談の場合「知らない人から固定電話に着信があり家族構成などを聞かれて一人暮らしって答えてしまって後で不安になり電話しました。」などの内容です。

このような場合で、防犯にコストをかけられない方は、以下の対策を話します。

- ①お孫さんや息子さんの派手目なトレーナーやTシャツなど洗濯物を干す時に一緒にかけといてください。(他に同居の家族がいると思わせる為)
- ②宅配便などが届いた場合もむやみに扉を開けずドア越しに「置き配」を依頼し、それでも強引に対面を求められた場合は最寄りの営業所を聞いてそちらへ取りに行くなどの対応策を説明しています。

本来これは防犯設備士の仕事ではありませんが、相談する方にとってはわからない事なので誰かに相談したいと思う気持ちを汲んで話を聞いています。

Bさんの場合

対策の意向はあるが、その方向性が定まっていない為、現地へ向かい何にリスクがあるかをマネジメントします。場合によっては会員さんを紹介し仕事に繋げています。

Cさんの場合

明確な方向性が定まっている為、話だけを聞いて会員さんを紹介する流れにしています。

Dさんの場合

ホームセンターの商品と防犯設備アドバイザーが選定する商品のメリット、デメリットをわかりやすく説明し、リスクを承知して頂いた上でホームセンターなどの商品を購入頂くよう説明しています。

しかし、防犯カメラは、事件が発生した際、確実に録画出来ていなければ意味が無い投資になる為、無線タイプや安価でSDカードに録画するカメラなどは購入しないよう少し強めに説明しています。

過去熊防設にて防犯カメラや防犯フィルム、センサーライト、補助錠などご依頼頂いた方からの紹介が少し増えており、県警からの紹介やメディア取材の影響もあり会員さんへ仕事の依頼を出来る機会が増えています。



センサーライトを依頼され取付してる様子



防犯フィルムの依頼があり施工している様子

これからも熊本県防犯設備協会は、県民の心に寄り添う活動を行ってまいります。